

令和1年度 経営発達支援計画の自己評価（外部有識者の事業評価と見直し）

評価点数 4.12点（5点評価）

I 経営発達支援事業の内容

1. 経済動向調査

指摘事項	見直しを行った結果
地域経済動向調査を今後どう活かすか。	小規模事業者にとって身近で有益な情報として今後も継続して提供して行きます。個者の事業計画の策定や販促計画の策定にも利用頂けるよう、分かり易い調査報告書の作成に努めます。
景況調査は、丹波市の経済動向を把握する上で重要であり、アンケートに加え、ヒアリングの実施はより実態把握につながり有効である。 この度の新型コロナウイルス感染症対策においては、調査で得られた情報や分析から様々な支援施策に繋がった。今後も引き続き有益な情報となるよう工夫を凝らして欲しい。	毎回実施する景気動向指数を把握する為の項目に加え、コロナ感染症による事業への影響や、消費増税に関わる経営への影響など、時節に即した調査項目を設定し、ヒアリングを行いながら情報の収集、集約、提供を実践していきます。

2. 経営状況の分析

指摘事項	見直しを行った結果
情報の統一化や職員のヒアリングレベルを標準化することは、後の支援の提案に非常に重要であると感じます。さらに適切な提案ができるよう取組みを進めてください。	職員会議や勉強会において支援事例の共有を図る中で、実訪ヒアリングの手法や経営状況の分析手法について標準化を図ります。また集めたデータを新しい支援システムに蓄積する事で、有益に活用していきます。

3. 事業計画策定支援

指摘事項	見直しを行った結果
事業計画の策定は、なりゆき経営から脱却し、事業展開を進めていくうえでは必須事項であり、様々なメニューが準備されていると感じました。事業主の意識改革など、Biz ステーションとの連携により、今後も効率良く展開されることを期待します。	今後も継続して、計画に基づく事業経営の重要性をアナウンスしながら、目標値を満たす各種計画策定支援に取り組めます。今年度はコロナの影響でセミナー・講習会の開催機会が少なくなるので、それに代わるBiz ステーションを通じた個別相談や巡回の中での支援案件確保に取り組めます。

4. 事業計画策定後の実施支援

指摘事項	見直しを行った結果
検証欄には会員からの意見として、良いことと悪いこと両方の記載が必要ではないか？検証欄にどう改善したかを数字で記載されていたのは良かった。	「評価の高い意見」、「評価の低い意見」等併記しながら、低い意見に対しては分析を行った上で、次年度に向け改善についても検討し報告するようにします。
目標を上回った項目はなかったが、事業所フォローアップ数は、概ね目標に近い水準に達した。	引き続き、事業計画の策定支援を行った個者については、巡回スケジュールを組み、計画的に計画の進捗管理を実践していきたいと思います。
伴走型の支援により一定の効果が見受けられます。職員さんの負担も大きいことと思いますが、働き方改革にも配慮されたうえで、さらに取組みを進められることを期待します。	特に事業計画の策定と実行支援を行っている個者については、成果（売上・利益の向上）に繋がる事業所を1件でも多く出していきたいと考えています。Biz ステーションの相談も活用しながら、成果に繋がる支援を目指していきたいと考えます。

5. 需要動向調査

指摘事項	見直しを行った結果
未達である。調査方法及び今後継続するかどうかについて、再考が必要である。	今年度はコロナの影響で、イベントは軒並み中止。調査実施を予定していたスイーツフェスティバルも中止の方針であり、昨年以上に調査機会の確保が難しい状況です。再度、取り組み内容の検討・修正を行う予定です。
分析データの提供数が、目標に達していないばかりでなく、3年間実績がないため。	
動向調査の手法については、大変難しいと感じています。活用しやすい効果的な調査となるよう何かしらの工夫が必要だと感じます。代替案は浮かびませんが…。	

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

指摘事項	見直しを行った結果
販促・プレゼン支援は、未達である。的を絞った情報発信やSNS活用、外部人材の登用など改善すべき点が多いのではないかと考えられる。	そもそもコロナの影響で展示会や商談会への出展機会がなくなっている今、それに向けてのプレゼン対策等の支援機会確保は難しい状況です。コロナの影響が明けてからの対策といった切り口で、対策を検討していきたいと考えます。
「匠の技フェア」は、参加したことはありませんが、非常に評判がよかったと聞き及んでいます。また、現在、取り組まれている事業所紹介も効果的であると思います。作成された情報の公開先にも工夫いただき、さらに効果の向上を期待します。	リニューアルした商工会ホームページに「にじいろタブレット」のコンテンツを設け、会員事業所の商品・サービス・人物を掘り下げて紹介していきます。コロナで集客減少が続いている中での有効な対策として、取り組んでいきます。

II 地域経済の活性化に資する取組み

指摘事項	見直しを行った結果
<p>全てにおいて、概ね計画を達成されている。ただし、活性化事業推進による集客力の向上については、どのくらい改善したのか？⇒具体的には出展支援を行った企業への聞き取りや交通量調査など客観的な数値を基礎とした検証データがほしい。</p>	<p>出店を支援した小規模事業者の意見や商工会に対する評価、また柏原街なかの交通量調査等の結果を今後は表記していきます。</p>
<p>新規起業者の出店は無かったものの継続した支援や様々な取組みを通じて、集客力の向上に寄与されることを期待します。</p> <p>Biz ステーションの取組みは非常に効果的に運用されており、高く評価できると思います。</p> <p>今後は、地域経済の活性化のキーワードとなる事業承継への取組みの充実に期待します。</p>	<p>Biz ステーションによる新規創業支援については、丹波市移住定住窓口やまちづくり柏原とも連携を図りながら、利用者にとって相談しやすく、成果の上がる取組になるよう改善を図ります。</p> <p>事業承継支援については、親族内承継の支援だけでなく第三者承継の相談にも対応していきます。</p>

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

指摘事項	見直しを行った結果
<p>全てにおいて、概ね計画を達成されている。ただし、経営指導員の資質向上のための OFF-JT の実施や丹波市商工会独自の会員支援システムを活用し、業務の向上と情報の共有を行って頂きたい。今後、現在の職員数を維持できるという確証はなく、人数を減らされたとして現状のパフォーマンスを維持できるよう今から取り組むべきである。</p>	<p>職員数が減少する中で、一人一人の支援力の強化は必須事項であり、研修会・勉強会また日々の業務の中での資質向上に継続して取り組みます。</p> <p>また業務効率向上が図れるよう、支援システムの有効的な活用にも取り組みます。</p>
<p>業務を進めるうえで、課題を的確に把握し改善に取り組まれている。多忙な状況の中ですが、「経営支援システム」をさらに有効活用し、効果的な支援や関係機関への施策提案にも繋がることを期待します。</p>	

全体を通じたコメント

◎各々の取組みにおいて、更に高める必要がある課題は存在するものの、全ての取組において、昨年度と比べ進化、深化している状況にあり、次年度に向けた取組方向も適切と想われる。

引き続き、丹波市経済の発展、並びに各々の事業者、企業の活性化に取り組まれることを祈念致します。

◎おおむね適正に運営されている。

◎総じて、会員を対象とした調査や、訪問を通じた経営情報分析など、地域内の会員へのきめ細やかな

対応において、優れた実績が達成されていると思います。今後は、需要の調査や開拓など、地域外の動向把握や地域外への発信等の面において、課題があると感じました。